

中小企業景気動向調査結果

(2021年4月～6月期)

上毛町商工会

このレポートは、福岡ひびき信用金庫が四半期ごとに発表する「ひびしん中小企業景気動向調査結果」を上毛町商工会が簡易に取りまとめたものです。

製造業 卸売業 小売業 サービス業 建設業 不動産業 合計 回答率%

調査対象企業数	61	34	55	36	48	31	265	100.0
回答企業	61	34	55	36	48	31	265	

景況天気図

・前期：2021年1～3月期 ・今期：2021年4～6月期 ・見通し：2021年7～9月期

良い ← → 悪い

	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
前期							
今期							
見通し							

(この天気図は調査結果から総合的に判断して作成しました)

業種別業況(今期と前期の比較)

	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
業況							
売上額							
収益							
雇用							

総合： 今期業況は、全体では△25.4と前期から横ばい。売上額は前期比△1.4%、収益は前期比△3.3%とやや悪化。コロナ禍の影響の長期化予想もあり、業況は慎重な見通しが続く。

製造業： 売上額は、前期比+4.9%とやや上昇するも、業況は前期比△11.5%と悪化。来期業況予想は、今期比+11.5%と持ち直すも前期と同水準で回復には時間を要しそう。

卸売業： 業況は、前期比+4.2%とやや改善するも厳しい状況が続く。売上額は、前期比+3.7%とほぼ横ばい。収益面は、前期比+15.5%と改善傾向。来期業況予想も依然慎重な見通し。

小売業： 業況は、ほぼ横ばい。売上額は前期比△7.3%、収益は△12.7%と悪化。雇用面については、人手不足感はやや緩和。来期業況予想は今期比+3.7%と僅かに改善されるも、依然慎重な見通し。

サービス業： 業況は、前期比+13.9%と改善。また、売上額は、前期比+13.9%収益面は、前期比+8.3%と改善するも、コロナ禍の影響長期化予想があり、来期業況は今期比△8.3%と、再び悪化予想。

建設業： 業況は、前期比+4.2%と堅調。人手についてはやや改善するも依然不足状況。来期予測業況は、前期比+6.3%と改善傾向。

不動産業： 業況は、前期比△3.2%と僅かに悪化。売上額は、前期比△12.9%、収益は、前期比△16.1%と低下。来期予想業況も冷え込み予想。

【地域別天気図（今期分）】

地域 業種名	北海道	東北	関東	首都圏	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州北部	南九州
総合											
製造業											
卸売業											
小売業											
サービス業											
建設業											
不動産業											

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調

特別調査：「中小企業の事業継続について」

Q 1：(1) 貴社は、現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますか。

回答：・やや危機を感じている (43.6%) ・あまり危機を感じていない (42.5%) ・強く危機を感じている (7.5%) ・全く危機を感じていない (5.4%) ・むしろ好機と感じている (1.5%)

(2) 貴社の業歴について、お答えください。

・10年以上30年未満 (45.4%) ・30年以上50年未満 (27.0%) ・50年以上100年未満 (20.8%) ・10年未満 (6.0%) ・100年以上 (1.1%)

Q 2： 貴社では、事業継続を困難化させる要因の中で、どのようなリスクを重視していますか。最大3つまで選んでお答えください。

回答：・仕入や調達の困難化 (31.9%) ・特にリスクは意識していない (26.3%) ・物流の停止 (23.3%) ・経営者の離脱 (20.2%) ・従業員の参集不能 (14.5%) ・販売先の倒産 (12.8%) ・事業所の使用不能 (7.6%) ・社内設備やシステムの故障 (6.6%) ・インフラ [電機・水道・通信等] の障害 (6.4%) ・社内の不正行為 (3.7%)

Q 3： 貴社では、災害に備え、どのような対策を取っていますか。最大3つまで選んでお答えください。

回答：・損害保険への加入 (33.2%) ・社内の連絡体制の整備 (29.6%) ・必要な資金の確保 (23.8%) ・特に対策は取っていない (23.7%) ・技術や情報のバックアップ (13.9%) ・取引先との事前の協議 (11.8%) ・建物や設備の耐震化 (10.1%) ・原材料等の代替調達先確保 (9.1%) ・自然災害を想定した訓練 (2.8%) ・その他 (0.5%)

Q 4：(1) 貴社が事業継続計画 (BCP) を作成 (予定を含みます) している場合は、そのきっかけをお答えください

回答：(1) ・その他 (4.4%) ・業界団体からの薦め (3.7%) ・行政からの薦め (3.2%) ・取引先からの要求 (0.3%) ・他社が災害・被害を受けた・自社が災害・被害にあった (同0.0%)

(2) 作成していない場合は、現在の状況について、お答えください。

・日常が忙しく余裕がない (32.5%) ・BCPについてよくわからない・当社には必要ない (23.7%) ・作成のための人材がない (5.5%)

Q 5 : 貴社では、事業継続にあたって、常日頃から頼りにしている相談先はありますか。最大3つまでお答えください。

回答 : ・金融機関 (68.4%) ・税理士・公認会計士 (56.8%) ・業界団体・同業他社 (17.2%) ・取引先 (13.4%) ・特にない (13.1%) ・商工会・商工会議所 (7.0%)
・地方自治体 (5.2%) ・診断士等コンサルタント (1.8%) ・弁護士 (0.6%) ・警察署・消防署 (0.0%)

(「ひびしん 中小企業景気動向調査結果」より、抜粋しました。)